

オオサンショウウオ

Andrias japonicus (Temminck)

サンショウウオ目
CAUDATA

オオサンショウウオ科
Cryptobranchidae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 準
水産庁 減少種

選定理由 本県は日本における生息域の南限域で、九州における唯一の自然繁殖地である。生息地のほとんどが私有地のため、森林が伐採されれば生息環境の悪化をきたし、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 宇佐郡（院内町）

分布域 本州(中部・近畿・中国地方),九州(大分)

生息環境 針広混交林の二次林中の渓流域。

現 状 当該地では、近年卵塊や幼生を目視することが少なくなっている。

備 考 国特別天然記念物「オオサンショウウオ南院内各河川」、国天然記念物「オオサンショウウオ生息地旧南院内村全村」（院内町）

オオイタサンショウウオ

Hynobius dunni Tago

サンショウウオ目
CAUDATA

サンショウウオ科
Hynobiidae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 II
水産庁 危急種

選定理由 サンショウウオ属の中では分布域が狭く、本県が主な生息地となっている。都市部やその周辺部では開発や休耕田の増加などにより、生息地の消滅が懸念される。

県内分布 宇佐市、宇佐郡、豊後高田市、西国東郡、東国東郡、杵築市、速見郡、別府市、大分市、大分郡、北海部郡、臼杵市、津久見市、佐伯市、南海部郡、竹田市、大野郡、直入郡

分布域 四国(土佐清水市),九州(熊本・大分・宮崎)

生息環境 標高10～800mの池沼や水田などの止水域。

現 状 生息域や産卵地が開発や水質汚染などの影響を受け、個体数が激減している所がある。

備 考 佐伯市城山の雄池・雌池付近は本種の標準産地。大分県天然記念物「佐伯城山のオオイタサンショウウオ」（佐伯市城山）。大分市指定天然記念物「オオイタサンショウウオ及び生息地」（霊山寺弁天池）

オオダイガハラサンショウウオ

Hynobius boulengeri (Thompson)

サンショウウオ目
CAUDATA

サンショウウオ科
Hynobiidae

カテゴリー

大分県 地域個体群
環境庁 地域個体群
水産庁 希少種

選定理由 ソハヤキ要素の主要な動物である。祖母・傾山系産は、紀伊・四国産より小型の傾向を示すので、地域個体群としての特性が認められる。森林伐採による個体数の減少が懸念される。

県内分布 竹田市、大野郡、南海部郡

分布域 本州(近畿地方),四国,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)

生息環境 標高500～1,500mの自然林内の渓流域。

現 状 生息地域の祖母・傾山系は国定公園に指定されているが、一部の地域では自然林の伐採などにより生息環境が悪化している。

備 考 大分県天然記念物「奥祖母のオオダイガハラサンショウウオ」（祖母・傾山系、緒方町）